



GIFU PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

(公社) 岐阜県理学療法士会ニュース

らいちょう

No.117

HP:physiotherapy.gifu@gamma.ocn.ne.jp

「第26回 岐阜県理学療法学会を終えて」

第26回岐阜県理学療法学会準備委員長

大野 隆

新緑の美しい季節になりました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

平成28年3月13日、第26回岐阜県理学療法学会が行われました。今年の学会は一般演題26題、症例検討21題という充実した演題数のもとで行われました。

開会式には福島県理学療法士会 会長 山口 和之 様、岐阜県作業療法士会 会長 柴 貴志 様、岐阜県言語聴覚士会 会長 佐野 和幸 様がご多忙のところご臨席のうえお言葉を賜り、有り難い限りでした。

今回の学会は会場の使用時間の都合もあり、かなりタイトなスケジュールで行われました。座長の皆様、発表者の皆様には多々ご迷惑をおかけ致しました。また、セッションによっては会場がいっぱいになり、せっかく参加して頂いたのに会場に入れなかったとのことで、参加者の皆様にも大変ご迷惑をおかけ致しました。当日の会場内は、皆さん積極的な意見交換が交わされ、すごい熱気が伝わってきました。学会のテーマにもある“若い力”が感じられました。

岐阜大学の青木 隆明 先生には、障がい者スポーツ大会に帯同した時の貴重なお話を時折ユーモアを交え講演して頂きました。普段ではなかなか聞けない、世界的な大会の様子を裏話も交えお話して頂きとても興味深く聴くことができました。

さて、今回の学会はテーマに『若い力～未来への礎～』と題し、ホームページ・facebookを立ち上げました。会員の皆様、特に若い理学療法士に少しでも興味を持ってもらい、足を運んで頂く事で様々な刺激を得てほしいという思いで準備を進めてまいりました。おかげさまで、参加人数339人と大変多くの方に参加頂き、盛況のもと終えることができました。

学会の開催に至っては、学会準備委員として小島 誠 学会長、小池 孝康 先生、吉井 秀仁 先生、兒玉 清

目 次

巻頭言	会員の声	(6)
「第26回 岐阜県理学療法士会を終えて」……(1)	賛助広告	(9)
協会副会長	賛助会員	(12)
小川かつみ先生からのメッセージ	研修会案内	(13)
各部・委員会からの報告		
(2)		
(3)		

孝先生、矢島 克幸先生、私の6人の準備委員で一年を通し準備を進めてまいりました。

岐阜県学会は1日で終わる学会ですが、1年間を通し準備を進めています。昨年、第25回の学会時に準備委員の6人が初めて顔合わせをして、それぞれ学術担当、運営担当、事務局、設営担当等と役割を決め学会の準備が始まりました。私自身も準備委員長と名乗ってはいましたが、全く何から手を付けて良いのか分からず手探り状態で始まりました。前回の準備委員長である山口 正寿先生からは解り易く分類された申し送りのUSBを受け取ったのですが、あまりのたくさんのファイル数に“うわ〜”と思わず嘆いた記憶がよみがえります。とにかく、申し送りのファイルを紐解いて少しずつですが準備を進めていった次第です。

準備委員のメンバーは、主にLINEを使い常に連絡し合っていました。かなり密に連絡を行っていたので、準備委員会として6人が集まる時は皆が今の状況を解っており、すぐに話し合いが行えるくらいでした。準備委員のメンバーとはとても仲良くして頂き、学会準備・当日ともに和気あいあいな雰囲気のもと進めていく事ができました。

現在は次期の学会準備委員の方に申し送りをするためファイルを整理しています。「学会誌をもっとこうしておけば、」とか「もっと早いうちに決めておけば、」等いろいろと思ひ浮かびます。恥ずかしながら、運営に携わるまでは学会には“後援”という物がある事、来賓の方へ出席の依頼が必要な事、もっと細かくは来賓の方が胸につける花が“徽章(きしょう)”という名前であり色には意味があるという事など、全くのまっ白状態から始めたので、今になって歯がゆい思いがじわじわ浮かんできます。

私自身、一年を通し学会開催に向けて携わり、正直本当に大変でした。なんとか開催まで漕ぎ着け、無事終えることができたのは、準備委員の5人の先生方、運営スタッフとして手伝って頂いた48人の先生方、ボランティアスタッフしてお手伝いして頂いた岐阜保健短期大学の学生の方々など多くの人の手助けと御理解があったからだと思っています。

また最後に、私の職場であるリハビリテーション科のスタッフには、私が通常業務が滞ってしまうこともあったのですが、常に後ろだてをしてもらっていました。

この一年間本当にたくさんの方々々に支えられ、助けてもらい開催に至りました。感謝の一言に事につきま

す。
ありがとうございました。

協会副会長 小川かつみ先生からの メッセージ

平成30年の医療・介護の同時改定をはじめとして、理学療法士を囲む環境は厳しいものがあり、その解決のためには政治活動は避けて通ることはできません。昨年12月22日、本会副会長の「小川かつみ」氏が、今年の参議院選挙の自由民主党の公認候補として正式決定しました。小川氏は以下の「政策」を掲げて、全国展開をしているところです。10万人余の会員が力を結集する時が来しました。

1. 障害をおもちの方々や高齢者、そしてご家族に寄り添い、その方々の想いを代表し、温もりのあ

る社会を実現します。

2. 理学療法士をはじめとするリハビリ専門職が国民から信頼され、選ばれる専門職へ社会的評価を高めるための仕組みを作り、活動の場を広げます。
3. リハビリ医療の質を担保するために、理学療法士をはじめとする医療専門職の臨床能力・資質向上プログラムを制度化します。



平成 28 年度 定期総会のご案内

平成 28 年度第 1 回研修会に合わせて平成 28 年度公益社団法人岐阜県理学療法士会定期総会を開催します。皆様のご出席をお待ちしております。

日時：平成 28 年 6 月 18 日（日）15:00～15:30

場所：岐阜県図書館（岐阜市宇佐 4-2-1）

議題 1. 平成 27 年度事業報告

議題 2. 平成 27 年度決算報告

議題 3. その他 平成 28 年度事業予定・予算報告

* 総会資料及び出欠のハガキは後日送付させていただきます。

平成 28 年度 新入オリエンテーションのご案内

平成 28 年度定期総会後に本年度の新入オリエンテーションを開催いたします。

新入会済みの方、新入会予定の方に新人教育プログラムの予定などについて説明させていただきます。ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

厚生部より

厚生部では、会員皆様の福利厚生で、ご結婚の際にカタログギフトを贈呈しています。

平成27年度 中濃支部郡上地区症例・業務検討会

日時：平成 28 年 2 月 6 日（土）16:00～17:30

場所：郡上市民病院 6 階大会議室

参加人数：28 名（演題発表者 4 名）

プログラム

座長：池田 麻紀（白鳥病院 理学療法士）

1 パーキンソン病患者様の歩行分析

八幡病院 理学療法士 福田 千紗

2 左肩関節周囲炎と診断され、拳上制限及び肩上前方部痛を訴えた一症例

柳田整形外科 理学療法士 石丸 栄大

3 高度な変形性膝関節症を呈した一症例の経験

柳田整形外科 理学療法士 橋本 智子

4 理学療法士国家試験対策を行って

鷲見病院 理学療法士 原 宗弘

暖冬のため、例年に比べ雪は少ないですが、まだまだ厳しい寒さが続いております。会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度も「経験年数の少ない先生方にも気軽に発表して頂こう」をコンセプトに、症例検討会を行いました。難渋した症例に対しての患者様へのアプローチ、国家試験対策等の発表が行われ、バラエティーに富んだ症例検討会となりました。

演題発表は 4 演題でありましたが、想像以上に活発な質疑応答が行われ、予定時刻をオーバーするほどのかなり充実したディスカッションを行う事が出来ました。クイズを交えた発表もあり、楽しみ（？）ながら、新たな気付きなど良い機会になったと思います。

今後も、気軽に発表やディスカッションが行なえるような和やかな雰囲気作りを目指しながら、さらに良い症例検討会にしていきたいと思っています。

毎回、郡上地区以外の遠方からも参加があり、大

変感謝しております。是非またこの機会に意見交換等、交流していけるよう今後もよろしくお願いいたします。

最後に、座長の池田先生をはじめ、演題発表された先生方、参加された皆様、そして、運営スタッフの皆様にお礼申し上げます。



中濃支部広報 郡上地区担当
郡上市民病院 矢野 夕都



< 会 員 の 声 >

回復期病棟に勤務して

医療法人社団 日新会
城山病院

阿 部 知 香

私は理学療法士になって丸4年になります。私が現在勤務している法人は回復期病棟、療養型病棟と外来、老人保健施設、訪問リハビリがありますが、私はこの4年間回復期病棟でしか勤務したことがありません。そのため、回復期病棟でのリハビリの視点からしか分かりませんが、今回、回復期病棟で勤務しているなかで感じていることを書こうかと思います。

当法人の回復期病棟で急性期病院から転院してくる疾患で圧倒的に多いのが、「大腿骨頸部骨折」と「脳梗塞」です。また、年齢では入院患者の約半数以上が80歳以上の高齢者になります。中には2～3回目の入院となる方もみえます。入院期限は脳血管疾患患者で150日、運動器疾患・廃用症候群患者で90日と定められています。この期限内でどの方向性に向っていくのか（自宅退院か施設入所になるのか）を他職種の方たちと相談しながら決めていくなかで、いつも悩むのがこの定められた入院期限内で、身体機能面や認知機能面・対象者の生活背景や家族環境といった面から総合的に判断していくことです。その中で特に問題となってくるのが認知機能面です。現在、超高齢化社会に突入していく中、原疾患以外に多くあるのが認知症です。厚生労働省によると2025年には認知症を患う人は700万人を超え、65歳以上の高齢者の5人に1人は認知症を罹患すると発表されています。「リハビリで身体機能が向上しても、認知機能が影響し人の目が離せない。そのため在宅への受け入れが難しい」といったような問題が多く見受けられます。病院職員が患者に関わるのはある一定の期間に限られた時間ですが、ご家族や関係者は亡くなるまでの果てない付き合いとなります。家族の身体的な負担を減らすことも大切

ですが、最近患者さんに関わっていく中で感じることは患者さん本人とご家族の精神的な負担を軽減させるのも重要であると思っています。理学療法士である以上身体機能を回復させることはとても重要ですが、退院後の生活を想定し安心できる生活や環境を評価し考えていくことも回復期でのリハビリの役割だと思っています。この春で理学療法士となって5年目に突入しますが、高齢者で認知症患者が増えていく現在において今一度、回復期でのリハビリ職員としての役割や対象患者の原疾患以外での生活背景や性格をしっかりと評価しながら、対象患者さんのみでなく関わっていくご家族の立場に立っても考えていきたいと思っています。

成長期野球肘検診の活動を通して

山内ホスピタル

リハビリテーション部

佐藤 夏実

現在、岐阜大学を始めとする整形外科医と共に、成長期野球選手の障害予防を目的とした野球肘検診を行っています。

皆さんは、野球肘と聞いてどのようなものを思い浮かべるでしょうか。野球肘と大きく2つに分けると、成長期と成人期の2つに分けることができ、私たちが対象としているのが成長期にあたる小学校から中学校の選手たちです。部活動や少年団以外にもクラブチームが各地域で増加傾向にあり、練習に熱を入れるチームが多くなっています。それに伴い他の競技に比べて練習量・時間の増加、オーバーユース、身体柔軟性低下、不良な投球フォームなど様々な要因が重なり、肩・肘の障害が多く報告されています。

肘の障害で最も厄介なのが離断性骨軟骨炎です。この病気は初期症状が乏しく、所見が得られにくいもので、痛みや可動域制限が出現してからの来院では、早期復帰が困難な状態となります。

当院のスポーツ外来でも、肘痛を訴え来院する選手が多く、中には投球制限や手術が必要な状態に至る選手も見受けられます。

そのために、離断性骨軟骨炎のような病態を減らすために始めたのが野球肘検診です。2012年に岐阜県神戸町から医師3名、理学療法士2名から始められました。私に関わらせていただいている2013年からはスタッフ数も徐々に増加し、多くの理学療法士の先生にご参加頂いております。その甲斐があり、検診活動の地域も岐阜市中部、南部、養老、大野町と拡大しています。



検診は、アンケート調査から始まり、医師と臨床検査技師による超音波検査、理学療法士によるメディカルチェックと選手・保護者・指導者へのフィードバックを行います。検診を重ねるごとに反省点が見つかり、毎回試行錯誤しながら奮闘しています。



課題として、マンパワー不足は否めません。検診地域を拡大するにあたり、受け皿となる病院・クリニックがないため、肘検診後の十分な検査や治療を行えない選手もいます。適切な診断と検査が行えず病態が悪化するケースを減らすために、会員の皆様のご協力が必要であると考えています。

各地域に肘検診を行い、選手・指導者・保護者への病態認知、理解を深めるとともに、理学療法士という職業をもっと認識していただき、岐阜県の投球障害は理学療法士が管理していると言えるように今後も取り組んでいきたいです。



人を大切にすること

中部学院大学看護リハビリテーション学部
理学療法学科

濱 岸 利 夫

約四年前、理学療法士の恩師が私の顔を見るなり、「君みたいな者が、大学の教員をやっているのか……」と言われたことをはっきりと記憶している。確かに自分でも学生の頃、大学教員になるとは夢にも思っていなかった。それくらい私の学生時代の成績は悪く、恩師が言ったことを自分でも納得することができる。たぶん、評定はAが二～三個くらいで、あとは殆どがCであった。記憶は定かではないが、卒業前あるいは卒業直後ぐらいの時期、自分が理学療法士として長く仕事をすることができるか不安だった。それでも、理学療法士として三十三年間勤めてきた。自分でも不思議なくらいである。理由はいろいろあるのかもしれないが、結論は出ていない。

しかし、よく考えてみると、自分が理学療法士として長く仕事をするできた理由の一つとして、かつて担当していた子どもたちからの声、ある

いは励ましがあったように思える。また、お世話になった理学療法士の同僚や先輩・後輩さらに同僚であった作業療法士、言語聴覚士、看護師、介護福祉士の方々にもお世話になってきた。加えて医師の先生方にもご指導を含めてお世話になってきたのは間違いない。数え上げれば実に多くの方々からの励ましやお世話になってきたことを思い出す。

これまで、私が仕事上で困難に直面したとき、友人や知人あるいは恩師が私を支えて下さいました。とても残念ですが、私に大きな影響を与えて下さった人たちの何人かは既に他界しています。それでも、私は今でも彼らあるいは恩師のことを思い出す時があります。多くの場合、私が再び困難なことに遭遇している時なのかもしれません。そして、「こんな時、彼らだったら、どのようなアドバイスを言ってくれるだろうか……」と思い出します。そのたびに、私は、彼らや恩師は亡くなってはいない、彼らや恩師が大切にしていた「人との関わり」で「人を大切にする」ことの中で、彼らの気持ちは私の中で生きていると思えて仕方ありません。

私たち一人一人は小さな弱い存在です。そして、一人では生きていけないだろうし、一番身近な家族や友人あるいは同僚や恩師、そして患者さんからも影響を受けて活かされているのだらうと思います。だから親兄弟はもちろん、周囲の人たちとの関わりや患者さん一人一人を大切にすることは、きっと自分を大切に頂くことに繋がっていくと考えています。「人を大切にする」とは、理学療法士としてだけではなく、一人の人間として自分の人生をより長く充実したものにするための生き方だと思えます。

会員の皆様へ

現在、最新の協会&県士会ニュースを「岐阜県理学療法士会」フェイスブック&ツイッターにて発信しています。

是非、フェイスブックで「いいね!」、ツイッターで「フォロー」していただき、情報を共有しましょう。

「岐阜県理学療法士会」で検索していただくか、県士会ホームページから入ることができます。ご協力よろしくお願い申し上げます。m(_ _)m

フェイスブック

<https://www.facebook.com/gifupt>

ツイッター

<https://twitter.com/gpta2012>



H28 賛 助 会 員

会 社 名 ・ 施 設 名	電 話 番 号
有限会社 加納ビジネス 〒 500-8456 岐阜県岐阜市加納大黒町 2 - 32	TEL 058-273-3007 (代)
有限会社 中部義肢 〒 486-0911 愛知県春日井市西高山町 3 丁目 16 - 122	TEL 0568-34-7143
岐阜保健短期大学 〒 500-8281 岐阜県岐阜市東鶉 2 丁目 92 番地	TEL 058-274-5001
東名ブレース株式会社 〒 489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 271	TEL 0561-85-7355
株式会社 松本義肢製作所 〒 485-0805 愛知県小牧市大字林 210 - 3	TEL 0568-47-1701
学校法人誠広学園 平成医療短期大学 〒 501-1131 岐阜県岐阜市黒野 180	TEL 058-234-3324
中部学院大学 〒 501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘 2 丁目 1 番地	TEL 0575-24-2211

編集後記

らいちょう 117 号作成に当たり、巻頭文・会員の声の原稿依頼を快諾して、ご協力下さいました、大野隆氏、阿部知香氏、佐藤夏実氏、濱岸利夫氏、に感謝致します。
この場を借りて、お礼申し上げます。

熊本地震、闇カジノ、野球賭博、三菱自動車の燃費不正問題など新年度から暗い話題が目立つように感じます。

闇カジノ、賭博問題では現役のスポーツ選手が関わったということで問題になっています。三菱自動車も度重なる不正問題で問題になっています。

このように社会に大きな影響を与える人、会社が問題を起こすと社会は大きく反応します。反応した後に動いても個人の力ではどうにもできない状態になっています。

私は社会に影響を与えられるような人物ではありませんが日々考えて行動し責任がとれるような人になりたいと思います。(M)

公告掲載のご案内

士会ニュース公告掲載のお問い合わせ・申し込みにつきましては
広報部までお願いいたします。

広報部

〒 503-2417 揖斐郡池田町本郷 1551-1

医療法人社団橋会 新生病院

リハビリテーション科 伊藤康行

TEL.0585-45-3161 FAX.0585-45-3255

E-mail : shinsei4@octn.jp

2016. 5. 21

発行人：公益社団法人 岐阜県理学療法士会

会長 榎 林 優

事務局：〒 500-8384 岐阜市藪田南1丁目 11 番 12 号

岐阜水産会館 601 号室

TEL・FAX (058) 277 - 6166

編集：伊藤康行

印刷所：(有)いすくら